

聖パウロこども園

入園のしおり R8



心で見なくっちゃ、ものごとはよく見えないってことさ

かんじんなことは、目に見えないんだよ



社会福祉法人 日本聖公会高砂福祉会

聖パウロこども園



Saint Paul's O

【園の沿革】

昭和48年1月、生石地区を中心に保育園を建設したいとの計画があった。
産休明けから小学校入学までの子どもたちをご両親の仕事に合わせた保育時間の保育園を、
ということで計画は進んだ。坂牛八州初代園長が、2年間の留学で、英国を中心とした先進国の
福祉事業を研修・視察の後、帰国して計画が具体化した。

子どもを保育する環境として絶好の丘陵地が与えられ、坂牛八州を設立代表者として、
昭和49年1月に地域の現状と要望に応え、市県と協議の上、昭和51年4月に聖パウロ生石
保育園が開園となった。その後、平成23年4月より現園長坂牛裕が引き継いだ。そして、
平成27年4月より園舎建替を行い、翌年平成28年4月からは幼保連携型認定こども園として、
聖パウロこども園がスタートしている。

設立当初から「神と人と自然を愛する子どもを育てる」という教育保育理念をかげ、
子どもの成長と幸せを願っている。

【聖パウロこども園の園章】



<SPNH> = Saint Paul's Nursery Home

<若草色> = 成長発達 <えんじ> = 血→無私の愛

<十字架> = 愛のシンボル <かたち> = 盾

【聖パウロこども園の概要】

施設の名 称	聖パウロこども園（聖パウロ幼稚園・聖パウロ保育園）
施設の所在地	高砂市阿弥陀町魚橋686番地
連 絡 先	電話番号：079－448－1101 携帯電話：090－7356－4189（桃組の携帯） 080－1529－1101（園の主携帯）
ホームページ	https://st-pauls.net/
登降園システム	paurotoukouen@yahoo.co.jp
プ ロ グ	ホームページより



【クラスのなまえ】

歳児	0	1	2	3	4	5
カラー	桃	桜	赤	白	緑	青

【パウロ一日】

(桃～赤組)



順次登園

視診

遊び

(お祈り)

(おやつ)

遊び

食事

順次給食

昼寝

おやつ

降園開始

順次降園

7:00

(登園開始)

9:00

(通常保育開始)

11:00

12:00

13:00

15:00

15:30

16:00

18:00

(延長保育開始)

19:00

(またあした)

(白～青組)



順次登園

視診

体操

お祈り

設定保育

給食

昼寝

おやつ

降園準備

降園開始

順次降園

★1 パウロでは、発達に応じた魅力的な「おもちゃ」をクラスの各所に配置しています。
コーナー保育では、「遊び」を通して、手先を使う遊び・ルールのある遊びなど、
様々な経験ができ、同時にこどもが自分で選ぶことで、主体性が身に付きます。

★2 乳児期から3才児前半までは特に、食事・排泄・睡眠・手洗・身支度など、生活習慣が
正しく身につくことをパウロではとても大切にしています。そのため、育児においては、
個々の発達に応じて、少人数対応を基本としています。



建園の精神 — 信・望・愛・忍「最も大いなるものは、愛である」

教育保育理念 — 神と人と自然を愛する子どもを育てる

愛されて育った子どもは、「愛する心」を自然に理解します。

あふれる自然のもと、神様や人同士の温かな関わりを通して、
子どもの「心」を大切に育んでいきたいと思っています。

【 パ ウ ロ の 教 育 保 育 目 標 】

- ① 「心」が育ち、自己肯定感の高い子ども
- ② 正しい生活習慣・マナー・社会ルール・就学に至る教養の身についた子ども
- ③ しなやかな体の子ども
- ④ 子ども時代に子どもらしい心躍る体験をしている子ども



【 パ ウ ロ の 教 育 保 育 基 本 方 針 】

- ① 子どもと保護者との信頼関係を大切にする
- ② 子どもにとって心地良く、またよく「遊び」「学習」できる環境をつくる
- ③ 子どもの生活・遊び・学習に対して、子どもの主体性を尊重し、その「始まり」と「終わり」を大切にする
- ④ 子ども個人の心と発達を深く理解し、将来を見据えた関わりをする
- ⑤ 子どもにとって心躍るような体験ができる環境や機会をつくる
- ⑥ 様々な体験を通して、社会の事象・ルールを知る体験ができるようにする
- ⑦ 小学校と連携し、小学校就学に向けた取り組みを行う



★ お母さん お父さんへ

私たちはあなたのパートナー

私たちと皆さんは、これからお子さんを育てる大切なパートナーとなります。

それは、まさに自転車の両輪のような関係です。自転車本体はお子さんとなり、その進行がお子さんの成長と例えることができるでしょう。

自転車の行く先には、坂、水たまり、デコボコ道があり、風も吹いてくることでしょう。

しかし、両輪は**お互いを尊重し、謙虚さと配慮**をもって、信頼関係を成し、同じ方向、同じ回転を保てば、きっとあらゆるアクシデントにもバランスよく対応していけることでしょう。

入園にあたり、是非理解して頂きたいことは、**入園しても“子育ては皆様の手の中にある”**ということです。**「親子の愛」は、決して他人では満たせない。生活習慣・しつけは、園の力だけではうまくいかない。つまり、子育てにはどうしても“親の力”が必要なのです！**

そして、それが満たされた時、園のあらゆる能力（教育知識・教育技術）が最大限開放され、お子さんの素晴らしい潜在能力を引き出すことができます。

ですので、多少子育て不得手でも、多少余裕がなくても構いません。子育ての仕方や見通しは園からお示しできます。大事なことは、私がこの子を育てるという気持ちです。そんな皆様と今後共に歩んでいけることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

① 子育ての基本

- ① **「親子の愛」**が最重要
- ② けじめ・しつけ →愛着と信頼関係を確立する！
- ③ 私が子どもを育てるという意識

② パウロこども園に通う際によく育つ最重要ポイント

- ① 愛の充足・食事・睡眠
- ② 3～5歳児は9時までに登園する
- ③ 忘れ物をしない すべてに名前を書く

③ 「けじめ」と「しつけ」 - 親の明確な態度が子どもを安定させます

- ① 親自身が少ないルールを作り、例外を作らない
- ② 子どもとの約束は必ず守る・守らせる
- ③ 子どもが泣いても暴れても一切妥協しない
- ④ 言い聞かせる時は、真剣な顔で、目は合わさせる
分かりやすい言葉で落ち着いた声で短く話す

ルール例：危険なこと（駐車場・チャイルドシート） 人への迷惑（公衆で走り回る等）

④ 食事と睡眠の重要性

- ① 子どもをやる気まんまんにする食事
脳内の幸せホルモンは腸内で作られる
→たくさんふやすには「米・野菜・魚」 ×保存料等
- ② 子どもを賢く育てる睡眠
子どもをすくすく育てる成長ホルモン
午後9時頃から大量に分泌される
子どもの必要睡眠量は 10～13 時間 赤ちゃんはそれ以上

⑤ 子どもの成長を阻害するもの - 中毒性・意欲減退

- ① **スマホ子育て** テレビゲーム等 ゲームセンター
- ② テレビ・DVD（満3歳までは特に）
- ③ 光・電子音を基本にした玩具（特に音刺激の強いもの）
- ④ 濃い味付け・食品添加物（保存料等）
- ⑤ タバコのけむり
- ⑥ おしゃぶり・歩行器・乳児手袋・足固定する椅子 ✕ブーです

⑥ 教育上のお願いごと - 園内に広めたくないテレビの世界

- ① 戦隊もの 仮面ライダー プリキュア アンパンマン
- ② キャラクタ服・ズボンは避けて下さい
- ③ まだ見られていないご家庭は、見ないで済むなら見ない方がいいと思います



⑦ 子どもがよく育つ『言葉』

- ① ありがとう 助かったわ — 自己肯定感を育てる言葉
- ② がんばってたね 気が利くね
- ③ 大丈夫? お手伝いしようか? — 自立心と信頼を育てる言葉

*褒める時には、「すごい」だけでなく具体的に「〇〇ができたね」と言うよい

⑧ 子どもの言葉を育てる『言葉かけ』 — 言葉は「添える」もの

- ① 子どもにはゆっくりとした落ち着いた口調で
- ② 子どもへの行為の前には必ず言葉を添えてあげる
- ③ スキンシップの時に言葉を添えてあげる

*身に着けると育児が豊かになる言葉

- ・体の部位 — お風呂の時にぜひどうぞ
- ・感覚・感情 — 寒暖・優しい・悲しい

⑨ お父さんの育児参加は子どもをもっと賢くします

- ① 子どもに姿を見させているだけでも自立心がアップ
- ② 遊んであげると想像力・運動能力・IQがアップ
- ③ 家事をするとお母さんが助かる → 情緒安定



★ パウロの教育の考え方

① パウロでは単に文字・計算を教えるといったことだけを「教育」と呼びません。なぜならパウロの教育は天才児から、将来に向けて必要なことを意識的に行っているからです。開けたドアを閉めること、出した玩具を片付けることも、**すべて教育**です。そこには確かな方法論があり、子どもは**主体性**を身に着けながら、心を成長させながら自立の道を一步一步すすんでいきます。幼児期の教育の大部分は**「非認知能力」**を伸ばす教育です。

② パウロでは成長の段階（発達条件）をととても大切にしています。例えば「おはしをもつ」「みんなと仲良く」といったことも、**年齢が達したからといって、自然にできるわけではありません**。「おはしをもつ」前には「スプーンを正しく持つ」「はさみを巧みに使える」という意識的な発達が必要です。ですので、何事も「早くできる」ことではなく、子どもの発達をみながら、**順序を追って**正しく「できる」ということが大切だと考えています。



【遊 び の 内 容】

★ おままごと・役割遊び

ご家庭でのお料理の様子を見る、家族で買い物に出かけるなどの経験をもとに、遊びの中でいろんな役になる遊びです。室内ではいろんな種類の小物を使って、園庭では砂・水・木の実を使って遊びます。

★ 積み木遊びと砂遊び

子どものイメージを形にして表現する遊びです。

室内では積木を使って様々な構造物をつくります。

園庭では砂・水・粘土を使って、町作り、ピカピカ団子作りをします。

夏には特にダイナミックに遊びます。



★ ルールのある遊び（室内：かるた・トランプ　園庭：ドッチボール・わらべうた）

低年齢の子どもはルールのある遊びを楽しむことからはじめています。

4～5歳児になると、頭脳、技能の必要な遊びに発展していきます。

★ 技能遊び（室内：折り紙・ひも通し・パズル　園庭：なわとび・こま・フープ等）

頭と手先を駆使して遊びます。

やりきる力や手先の器用さが発達します。



★ 美術（お絵かき・粘土・製作）・自然遊び（探索・虫探し・実の収穫）

【園 文 庫】

園文庫とは、園からご家庭に毎週絵本を貸し出す取り組みです。

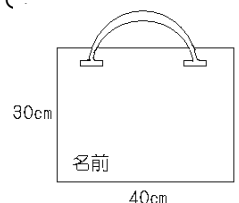
幼児期に多くの良い本にめぐり会えることは、子どもの成長にとってとても大切なことです。

是非、ご家庭でお子さんと良い時間をお過ごし下さい。

なお、園文庫は5月初旬頃から開始予定で、毎週金曜日にお渡ししますので

次の週の水曜日にご返却お願いします。

絵本を持ち帰るための袋のご用意をお願い致します。



★ お祈り（キリスト教） *キリスト教について

- ◎ 「今、自分があること」を感謝します
- ◎ 今日の日を見守っていてほしいことをお願いします
- ◎ お休みしている友達や先生のこと大切になります
- ◎ 最後にお祈りを捧げます



★ 体操（3～5歳児）（歩行・体幹運動・柔軟体操）

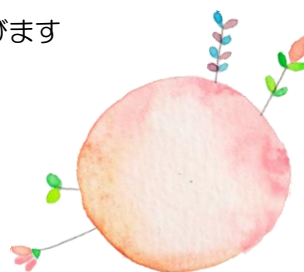
日々の体操は、子どもが心を落ち着かせて、自分の身体に向き合い発達させることを目的にしています。そのため、ちょっぴり地味なのですが、「歩行」で気持ちを整え、様々な動きを取り入れることで、全身の発達を促しています。

★ 歌（聖歌・幼児の歌・わらべうた）

歌は先生やまわりの友達の声と調和しながら楽しんで歌えることを目標としています。特に「聞く」ということを大事にしています。ピアノ伴奏は子どもが十分に歌えるようになってから徐々に使用していますので、年齢によって使用量が異なります。

★ 学習

- ◎ せんとうひらがな（4歳児） 鉛筆の使用法と机に向かう姿勢を学びます
（5歳児）「あいうえお」を学びます
- ◎ ECC（3歳児秋～5歳児） 英語に触れます。



★ 当番活動・お手伝い

- ◎ 5歳児からお手伝い・当番活動をはじめます。

★ 習い事（希望者のみ） 園内で行いますが、**原則直接契約（やりとり）**です

駐車について、開園時間内は原則第2駐車場をご利用下さい

- ◎ フィットネスプール（4・5歳児）月曜日 昼 30000円～42000円/年 20～30回/年
- ◎ ECC（ECCとの直接契約です）夕方（3歳児～）
- ◎ ピアノ教室（4・5歳児）（年間40回） 6000円/月
- ◎ 体操教室（4・5歳児）夕方 5000円/月3回



【入園にあたり】

入園当初は、環境の変化に加え、保護者の方と離れることで、一時的に不安定になりますが、毎日慣らしながら通園することで、数週間程度で落ち着いていきますのでご安心下さい。

お子さんを保育園に預けることがはじめての方は特に、気になることもあると思いますので、担任までお気軽にご相談下さい。



【慣らし保育】

「慣らし保育」とは、お子さんが保育園に、心身ともに無理なく慣れていけるよう、短時間保育から少しずつ保育時間を延ばしていく期間の保育をいいます。お子さんの状態に応じて①～⑤の段階ですすめ、完了まで約1ヶ月かかります。ご協力の程お願い致します。

- ① 9:00 ～ 10:00
- ② 9:00 ～ 給食前（年齢による）
- ③ 9:00 ～ 給食後（年齢による）
- ④ 9:00 ～ 午睡後
- ⑤ ～ 18:00（延長希望の方のみ）



● 0・1歳児の保護者体験保育のお願い

聖パウロこども園の0・1歳児クラスにお子さんを預けられる方は、母（父）子ともに保育園を知り慣れることを目的とし、保育を体験して下さいようお願い致します。

【入園時の提出書類について】

入園時提出頂く書類

- ・ 緊急連絡先及び災害時引渡し可能者、お迎え可能者申請書
- ・ 児童票（大切な書類です。地図帳など、記入漏れのないようにお願いします。）
- ・ 健康診断書（＊園で健康診断を受けている方は不要）
- ・ 重要事項説明書の同意書
- ・ 延長保育申込書（希望者のみ）

※自動払込利用申込書（通帳を作った際の住所・印鑑（2か所））直接郵便局へご提出下さい

【朝の受け入れ等について】

◆ 登園・受入れにあたり

- ① 愛情・睡眠・朝食・洗顔（顔ふき）・用便（オムツ替え）・寝ぐせ
- ② 状態のチェック（健康・爪）
- ③ ご家庭で普段と違ったこと（例：熱があった・ケガをした等）は必ずご報告下さい。
- ④ 必ず保育教諭と挨拶を交わし、お子さんをお預け下さい

◆ 受入れ場所（場所提示は入園式後提示します）

- ◎ 桃組～赤組・・・各クラスにて受け入れます
- ◎ 白組～青組・・・8：30 まで特定のクラスの受入れとなります。

【保育時間に関するルール】

- ① お預かりする時間のルール 延長等の料金計算を以下のルールに沿って計算します
登園（正門（黒い門）をお子さんと一緒に通った時間）から
降園（正門（黒い門）をお子さんと一緒に通った時間）までとします
- ② 登降園時間管理システム（幼稚園・短時間認定の方が対象です）
 - ・対象の方は、登降園時に読取機器にマイカードをかざして下さい。
かざすタイミングは上記①の登園（黒門入ってすぐ）、降園（黒門出る直前）です。
 - ・カード（貸出）はカバンにつけます。カード再発行には1000円かかります。
 - ・カードをかざし忘れの場合、月2回までは P1 のメールアドレスに「名前」と「時間」を送信して下さい。3回以上の場合は、前2回分の「時間」に関わらず、
最高額×回数で計算させていただきますので、重々お気をつけ下さい
- ③ お迎えが保育対応時刻 19：00（土曜：18：00 または 12：30）を超過する場合、
500 円／15分の超過金を徴収することとなります。また、そうしたことが年間4回を
超える場合は、労使上、園運営に支障をきたすため、厳しい対応をせざるをえな
くなりますので、重々お気をつけ下さい。



【土曜日について】

- ◎ 土曜日のお預かりは、ご両親がお仕事等で保育の必要なご家庭のみとさせていただきます。
利用月の前月25日までに所定用紙でお伝え下さい。
また、第2土曜日は12:30降園とさせていただきますのでご理解の程、お願い致します。

【送迎に関するお願い】 加害者・被害者にならないために

- ◎ 駐車場事故・道路事故・子どもの行方不明等の事故防止のため
- ① 玄関付近の門（自動ドア・正門・園庭と玄関を仕切る門）は、大人が開けて下さるようお願い致します。（抱っこ・ジャンプ等で子どもに開けさせないで下さい）
- * 特に正門を出る時、車から出る時は子どもと手を繋いで一緒に出て下さい。
 - * 正門は必ず閉めて下さい 子どもの飛び出し事故に繋がります
- ② 登園・降園における、車や自転車の乗降の際は、原則手を繋いで下さい。
特に登園時の車からの飛び出しには、ご注意下さい
駐車場では危ないので、お子さんを遊ばせてはいけません。
（フェンス・縁石・手すり・自動ドアのタッチパネル・登降園システム機器なども、子ども用玩具ではないので、子どもの事故防止のため、遊ばせてはいけません。）
- ③ 自転車送迎にあたり、お子さんのヘルメットを必ず着用して下さい。
自転車の並走はご遠慮下さい。
- ◎ 降園時のケガ・事故防止のため
- ① お迎えに来られたら、お子さんの荷物をもってから、お子さんにお声がけ下さい
帰られる際には「遅出の先生（遅エブロン）」に「さよならの挨拶」をし、速やかに帰られるようお願い致します。（駐車場が混み合うため）
- * 長時間の駐車（習い事など）は原則右図 P2 駐車場をご利用下さい。
- ◎ お迎えが普段とは違う方の場合（常時お迎え設定の方は除きます）
万が一の事があってはいけませんので、必ず事前にお伝え下さい。
帰られる際は、必ず先生に声をかけてからお帰り下さい。



【送迎マナー（車登園の場合）】

聖パウロこども園周辺の道路は、

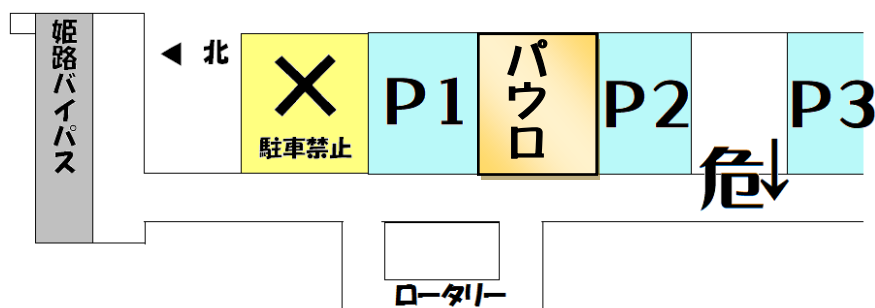
- ◎ 子どもの飛び出す危険性が高い
- ◎ 地域の方々にとって、とても大切な生活道路です。

* 地域の方はパウロの子どもたちをとても温かく見守って下さっており、
いつもパウロにご理解・ご協力頂いており、園としてとても感謝しております。



どうかこれらの点をご理解の上、車の丁寧な運転、車の止め方、地域の方々への言葉がけ等、くれぐれもご配慮頂けますよう、何卒よろしくお願い致します。

- ★ 園前の道路については、**最徐行の上、地域の方を最優先させて下さい**
- ★ ロータリーは、**通行禁止**となります。
- ★ パウロ地域のゴミステーションへの**ゴミ出し禁止**
- ★ **職員の指示には必ず従って下さい**
- ★ 駐車場進入の際は、必ず**指示器をお出し下さい**



【駐車・走行マナー】

- ◎ 駐車場内での事故・トラブルについて責任をとりかねますので、ご了承願います。
- ◎ アイドリング停車はご遠慮下さい。
- ◎ 走行中の携帯電話の使用もご遠慮下さい。
- ◎ 混雑時はP2（第2駐車場）をご利用下さい。
- ◎ 混雑時（特に朝）は、迅速丁寧に出庫願います！



【準備物】

持ち物すべてに『名前』を油性のサインペンで書くか、糸でしっかり縫って下さい。



(桃～緑組)



(青組)

項目							項目		
桃							青		
運動帽（登園後下駄箱）							運動帽（登園後下駄箱）		
連絡帳⑤							リュック	おはし	
手さげカバン	コップ	コップ袋①	-	-	○	○		コップ	コップ袋①
	給食用エプロン		○	○	○	-		手さげカバン	
	ハンドタオル		-	○	○	○		スーパーの袋（枚）	
	スーパーの袋（枚）		1	1	1	1		着替え③ 着替袋	
BOX	着替え②③		○	○	○	○	園置	☆ 購入された物品（道具類）は、 4月1日に園までお持ち下さい	
	スタイ・ほ乳ビン		○	○					
園置	お昼寝布団④		-	-	-	○			
	簡易ベッド用 敷バスタオル		○	○	○	-			
	掛バスタオル								

☆ お忘れ物のないようお願い致します。

お忘れの際は、貸出しをすることがありますが、必ず洗濯の上、ご返却下さい。

なお、貸出の難しい**タオル100円、パンツ400円、紙パンツ50円**については、

買取りとなりますので、ご了承下さい。



【準備物のお願い】

① コップ袋（赤組～青組）

コップをコップ袋（紐長めの巾着袋をご用意下さい）に入れて毎日持ち帰りますので、洗って翌朝お持ち下さい。

② お着替えボックス（桃～白組）（サブスクについては、別紙をご参照下さい）

着替えは2セットになるように、お着替ボックスに補充しておいて下さいますようお願い致します。

③ お着替え（緑・青組）

お着替袋（布製 ＊ナイロンは不可）に1～2セットの衣類を入れて下さい。

④ お昼寝布団（桃～緑組）

毎週金曜日 or 土曜日の持ち帰りです。洗濯、布団干しをして週明けにお持ち下さい。

⑥ 制服について（行事・お出掛け等で着用必須）

制服（上下とも）には、すべて園用ワッペンの取り付けが必須となります。

制服は毎日着用の義務はありません

制服以外の場合、基本襟付服を推奨致します

制服以外のその他服装ルールについては、P17をご覧ください

進級入園後2ヶ月程度は服装に関わらず名札の取り付けが必須となります。

夏服： 4月～10月遠足頃

冬服： 10月遠足頃～3月

* 冬制服着用時は、できるだけアンダー・スパッツで調整して頂きますようお願い致します



【病 気 休 み の 基 準 に つ い て】

	こんな症状の時はお休み下さい	こんな症状の時は登園できます
発熱	● 活気・機嫌が悪く、食欲がない ● 24時間以内に38度以上あった ● 24時間以内に解熱剤を使った	● 前日38度を超える熱がない 朝は37.5度以下で活気・機嫌もよい ● 咳/鼻水の症状は悪くなっていない
咳	● 咳のため夜間に起きる ● 連続して咳き込む、呼吸がつかう ● 機嫌が悪い/食欲がない	● 連続した咳がない ● 喘鳴やつかうような呼吸がない ● 機嫌がよく食事もしっかりしている
下痢	● 24時間以内に2回以上水様下痢あり ● 食事毎に下痢になる ● 朝に排尿がない	● 24時間以内に2回以上水様下痢なし ● 食事をしても下痢にならない ● 排尿回数がかいつも通り
嘔吐	● 24時間以内に2回以上の嘔吐あり ● 食欲や活気がない ● 嘔気があり、いつもより体温が高め	● 24時間以内に2回以上の嘔吐がない ● 食事をしても吐かない ● 機嫌がよく顔色も良い
発疹	● 発熱に伴って発疹がある ● 口内炎で食事がとれない ● とびひでは・・・ 顔などで患部を覆えない 患部を掻いてしまう じくじくして他児に感染の恐れ	● かかりつけ医の診察を受けた結果、 感染の恐れなし、全身状態がよいと 診断された ● 手足口病（発熱等のない） →伝染しない対応をお願いします
登園停止	● 伝染性の病気（登園許可書が必要） ★ 家族の方がインフルエンザにかかる 感染の可能性の低い場合を除き 病名判明時から72時間のお休み	家族の方がインフルエンザでも 子どもの予防接種が完了している 場合は証明をもって登園可能とします

★ 高砂市・加古川市にも病児保育室が開設されておりますので、お子さんが病気で、ご家庭で看護ができない場合は、病気蔓延防止のため、病児保育室をご利用下さい。

★ 基本的な予防接種（MR・BCG・水痘など）は確実に受けて頂けますようお願い致します。
任意ですが、リスク回避のため、B型肝炎、おたふくかぜの予防接種もお勧め致します。

【伝染性の病気について】

- ◆ 伝染性の病気は、規程に関わらず感染拡大させない意識をもって下さい
 - ◆ 伝染性の病気（インフルエンザ・おたふく・水痘・風疹・百日咳・結膜炎・RS・コロナ etc）
登園する際には、医師から診断された登園条件（症状の改善から〇〇日など）を登園許可願に保護者の方が記入し、ご提出下さい。その他は左表が登園基準となります。
- * 溶連菌感染症・手足口病・ヘルパンギーナ・アデノウイルス・とびひは、登園許可を必要としませんが、非常に感染力が強い病気なので、医師に適切な登園開始時期と感染防止策を聞いて、できるだけ対策して登園頂けるようお願い致します



【薬のお預かりについて】

こども園での薬の投与は、原則できません。

医師の判断で、保育中の投薬がどうしても必要という場合には、以下の通りの手順で投与を行います。

- ① 「医師の意見書」「与薬依頼書」「処方箋（写）」「1回分の薬（名前を必ず記入）
* 水薬も1回分を分けてお持ち下さい」を、登園時、事務所に手渡して下さい。
- ② 市販の薬、解熱剤、座薬、鎮痛剤、保護者の判断で持参した薬はお預かりできません。
園が誤って受け取ってしまった場合にも、投与はできません。
- ③ 投薬によって、いかなる問題が生じても責任を負えません。
- ④ 持病等によって長期間継続して飲まなければならない薬の場合はご相談下さい。

【欠席連絡・遅刻について】

お休み（欠席）・遅刻をされる場合、給食の都合上、9：00までに理由、期間などを必ずご連絡下さい。病欠の場合は病名、症状などお知らせ下さい。

アプリをご利用頂けます。

9：00過ぎの遅刻連絡または、11：30過ぎの登園については、給食の提供は原則できませんので、ご理解の程よろしくお願い致します。



【服装等のお願い】

◆ 服装一般（次の視点で考えています ①自立 ②安全 ③発達 ④美感 ⑤運営

靴：【①自立】自分で着脱可能なもの 【②安全・③発達】しっかり運動できるもの

服機能：【①自立】自分で着脱可能なもの 上服と下服が分かれているもの

【③発達】薄着着用（大人ー1枚） 冬：薄手のジャンパー

服装：【④美感】無地、ボーダー柄などできるだけシンプルなデザイン

* キャラクター全般（戦隊系・プリキュア姫系・アンパン系は特に）outです
イラスト・写真・文字などで、ガチャガチャとした雑いデザインはご遠慮下さい

首頭：以下のものは【②安全】の観点からご遠慮下さい

フード付の服・マフラー・ネックウォーマー（首つり防止）

髪結のナイロン製の小さなゴム・ピン・カチューシャ（紛失・破損・誤飲防止）

小物：【④美感・⑤運営】の観点からご遠慮下さい

キーホルダー（ご自宅からの）は子ども同士のトラブル回避のためご遠慮下さい。

コップ・連絡帳等へのシール貼り（名前シールは可）

その他においても、紛失・破損・事故の危険性のあるもの



【諸費用（物品・保護者会会費等）について】

◆ 引落し — それぞれ指定郵便局の口座振替となります。残高をご確認下さい。

現金を園で受け取ることは原則ありません。

各月諸費計算は未締め、明細書発行10日、引落し20日、再引落し30日です。

（*土日祝の場合は順延致します）

保育料・保護者会費など → 当月引き落とし

物品・プール代など → 翌月引き落とし

◆ 写真 — 各行事等（生活写真もあります）で写真屋さんが来ます。

撮った写真は、ネット販売となります。

ネット掲載は随時お知らせ致します。

なお、料金はスナップ写真1枚100円 集合写真1枚500円です。



◆ こども園入園における留意点

噛みつき（0～2歳児で最も多い） → 乳幼児の集団生活において必ず発生します
解決には園とご家庭の協力が必要です

ケガ・ストレス → 園ではケガやストレス（気持ち）が必ず発生します
（頭部は80%以上） もちろん重大事故は防がなければなりません、大体のことは
立ち直る・乗り越える機会として経験しておくべきと考えて
おります。また好ましいわけではありませんが、乳幼児のケガ
の多くは顔・頭であることも留意しておいて下さい

友だち関係 → 子ども同士の関係は個性のぶつかり合いであり、ある意味で
トラブル 残酷な側面もあります。しかし、これも集団生活の中で、
子どもが経験すべきことであると考えております。くれぐれも
親が子どもの友達を選択するようなことはおやめ下さい。
友達関係によるケガも、余程のことがない限り、園の責任です
ので、加害者の追求や謝罪要求はおやめ下さい。

保育士も人間 → 保育士も人間ですので、結構傷つくことがよくあります。
子育ての良きパートナーとして接して下さい。
ハラスメント行為は絶対やめて下さい。

人数チェック → バスの置き去り事件などで問題とされておりますが、パウロは
もとより、人数確認を丁寧に行っております。9時以降の登園
の際は、黒門で人数確認をしているため、前の人に続いて入る
のではなく、必ずインターホンを押してから入ってきて下さい。

衣類等の損耗・紛失 → 損耗はよく遊んだと褒めて下さい
紛失はできるだけ防止したいので、必ずお名前を！

お土産・お歳暮等 → 園では原則受け取りません
お気持ちはとても嬉しいです
旅行のお土産等を他園児に配布もリスク回避のためできません

保護者の会 → 4月に役員決めの投票があり役員を決定します
お忙しい方が多いので役員活動はほとんどありません



嬰兒を胸に抱いたひとりの女が、子どもについてお話し下さいと
アルリムスタファーに問うた。アルリムスタファーは、こう答えた。

あなたの子は、あなたの子ではなく、

大いなる生命の希求の息子であり、娘である。

あなたを経て現われてきて、

あなたから生まれたのではない。

あなたとともにいても、あなたに属するものではない。

あなたの愛を与えることはできても、

あなたの考えを与えることはできない。

子どもは自らの考えを持つものだから。

その身体を住まわすことはあっても、

その魂までも住まわすことはできない。

子どもの魂は、あなたが夢にも訪れぬものではない。

明日の館に住んでいるのだから。

子どもはいつにならうと努めるのはいつの間にか、

子どもはあなたのようにいつの間にかではならぬ。

生は、後ろに歩まず、昨日を持つものではないのだから。

ハリール・シブラーン「プロフェット」より

(小林薫訳「預言者」P.42「プロフェット」)

特別な子どもたち



「会議が開かれました。地球のはるか遠くで「また次の赤ちゃんの
おたんじょうの時間ですよ」天においてになる神さまにむかって、
天使たちはいました。「この子は特別の赤ちゃんで、たくさん
愛情が必要でしょう。」この子の成長はともゆつくりに見えるかも
しれません。だから、この子は下界で出会う人々に、とくに気を
つけてもらわねばならないのです。もしかして、この子の思う
ことはなかなかわかってもらえないかもしれません。何をやっても
うまくいかないかもしれません。ですから、わたしたちは、この
子がどこで生まれるか注意深く選ばなければならないのです。こ
の子の生涯が、しあわせなものとなるように。」とついで、神さま、
この子のためにすばらしい両親を探して下さい。神さまのために、
特別な任務をひきつけられるような両親を。」

Edna Massimilla 作

